



2013年1月11日

2013年のSUBARU モータースポーツ活動計画について

富士重工業と同社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社*1は、2013年のSUBARUモータースポーツ活動について、次のように概要を発表しました。

*1: スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:唐松洋之、東京都三鷹市、略称:STI)

■SUPER GTシリーズ

日本国内で最もポピュラーなカテゴリである SUPER GT シリーズに、今シーズンも「SUBARU BRZ GT300」で出場します。STI が設計・組上げを担当したこの車両は、2.0 リットル BOXER ターボエンジンをフロントに搭載し、量産車と同様の FR レイアウトを採用しています。チーム運営は、「R&D SPORT」(代表:本島伸次、神奈川県平塚市)が担当します。STI 総監督には引き続き STI モータースポーツプロジェクト室長の辰己英治が就きます。また、ドライバーも 2012 年シーズン同様の山野哲也選手、佐々木孝太選手の 2 名を起用。2 年目の本年は、車両に、空力、シャシなどに改良を加え更なる競争力向上を図るとともに、早期のクラス優勝とシリーズ優勝を目指します。

■ニュルブルクリンク 24 時間レース

6 年連続の挑戦となるニュルブルクリンク 24 時間レース(ドイツ、5 月 17 日～20 日)に、WRX STI 4 ドアをベースにパフォーマンスアップした車両で出場します。STI は、2011 年と 2012 年の SP3T クラスでクラス優勝を果たしており、本年は三連覇を目指しています。さらなる低重心化などにより競争力を高めた車両は、4 月に現地で行われる耐久レース(VLN シリーズ)に出場してセットアップを行い、5 月 19 日・20 日の 24 時間レース決勝に臨みます。車両開発およびチーム運営を統括するチーム総監督は辰己、ドライバーは、吉田寿博選手、佐々木孝太選手に欧州のドライバー 2 名を加える予定です。また、これまで同様に全国スバル特約店から選抜されたサービスマンをチームクルーとして派遣します。

■FIA 主催の国際ラリー選手権シリーズについて

本年より新たに発足する FIA 世界ラリー選手権 2(WRC2) やインターコンチネンタルラリーチャンレンジ(IRC) と統合した新たなヨーロッパラリー選手権(ERC) に参戦するドライバーへの支援についてはこれまでと同様の支援計画を予定しています。決定次第順次公開していきます。

